

# 建設業の魅力を体感 平田建設 中学生職場体験



ドローンを操縦する生徒

を見学。道路の安全・安心を守る橋梁補修工事の様子を間近で観察した。

【帯広発】(株)平田建設(土幌、長谷川雅毅社長)は5日、土幌町立土幌町中央中学校の職場体験学習に協力した。2年生3人が橋梁補修の現場を見学。ドローンの操縦体験も行い、先端技術を取り入れる建設業の魅力の一端にふれた。

同社が土幌中央中の生徒を受け入れるのはこととして3回目。当日は、本社で建設業界の実態について講義を行ったあと、帯広開建発注の「242号陸別町第1号橋補修ほか一連」の現場

このあと、ドローンの操縦を体験。生徒たちは「初めての操縦で難しかったけれど、ゲームみたいで楽しかった」と話すなど、最新技術を駆使する建設業の魅力を肌で感じ取っていた。

現場代理人を務める松崎光春土木課長は「建設業を少しでも身近に感じてもらえればうれしい。将来、地元で建設業へ進む道を選んでほしい」と話していた。

## 11/13 建設



### 中央中生徒3人の 職場体験に協力 平田建設

平田建設

【帯広】平田建設(本社・土幌)は5日、土幌町立中央中の職場体験に協力した。生徒3人が273号上土幌町三国トンネル補修ほかなど2現場を訪れ、建設業について学んだ1写真。

小島得秀土木部長が案内。参加した生徒の1人は「トンネルの中を歩くことはいないので良い経験になった」と話した。